

平成29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心できる暮らしの支援

サブテーマ：最期まで安心、安楽に過ごせる場所として地域に認められる施設

部署名：白楽荘

- <概要>
1. サービス提供時の事故防止に努めた。
 2. 入所者、家族に親切、丁寧な言葉掛けにより良好な関係作りに努めた。
 3. 職員が不足している現状、応援体制を構築し多職種協働でサービスを提供した。
 4. 役職ごとの職務内容や責任、必要な能力やスキルを明確にし、昇進や昇給、職員の育成を目指した。
 5. サービスの実施目的とケアプランの理解を図った。
 6. 明るい雰囲気の中で仕事ができることで、職員のモチベーションアップに繋がった。

- <総括>
1. 事故防止委員会での危険予知訓練や研修会を開催した。また、責任者と事故防止委員の情報発信により、事故防止に努めることができた。2月5日からの豪雪により車での出勤が困難となり、徒歩による出勤、泊まり込み、乗り合わせなど協力し合い人員確保を行った。今後は職員配置困難時の業務マニュアルも作成する。
 2. 拘束廃止委員会では拘束チェックシートを活用し、身体拘束、言葉の拘束についての意識が向上し、取り組むことができた。また、丁寧な言葉掛けで入所者、家族との良好な関係作りに繋げることができたと思う。
 3. 勤務作成時に各チームの配置状況を把握し、相談員、ケアマネ、他部署から応援を行い、危険なくサービスを提供することができた。

4. 介護職評価者を新任職員が配属される部署に配置し、知識、技術の指導を行い、新任職員の成長に繋げることができた。外部研修については、職員不足の中で調整を行い、中堅職員を中心に可能な限り参加することができた。

5. ケアプラン担当勉強会を2ヵ月に一度開催し、ケアマネがチーム担当者に指導、理解を深めて、ケアプランに関する記録のマニュアル作りを行った。

6. 職員間の人間関係はよく、どの職員も協調性をもって業務にあたっており、人間関係で悩みを抱えている職員はいなかった。